



## 盛岡市プレスリリース

第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
～若者をひきつける躍動するまち盛岡～

令和4年3月16日  
盛岡市 市長公室  
都市戦略室

市政記者クラブ加盟社 各位

### 全国高校生マイプロジェクトアワード全国 summit への出場に係る市長表敬訪問について

市内で活動する高校生のプロジェクト2つが、認定NPO法人カタリバが中心となって開催される全国高校生マイプロジェクトアワード2021全国 summit の岩手県代表として選考され、プロジェクトメンバーからの表敬訪問を受けますので、取材方よろしくお願ひ申し上げます。

#### 記

#### 1 表敬訪問の概要

- (1) 日時 令和4年3月22日(火) 16時30分～17時
- (2) 場所 盛岡市庁舎別館 403 会議室
- (3) 訪問者(敬称略)(予定)

##### ア 岩手県立盛岡第一高等学校

1年生 山根れいか さん

同伴者 岩手県立盛岡第一高等学校 校長 梅津先生

岩手県立盛岡第一高等学校 学びデザイン課 坂下先生

##### イ 学校法人ドワンゴ N高等学校

2年生 加藤常磐 さん

1年生 佐藤沙羅 さん

同伴者 SoRa Stars 山崎智樹代表

盛岡市地域おこし協力隊 山本夏翠

#### 2 プロジェクトの概要

別添のとおり。

担当 都市戦略室 佐藤俊治(さとうしゅんじ)

電話 019-613-8370

E-mail toshisen@city.morioka.iwate.jp

## 全国高校生マイプロジェクトアワード 2021 全国 summit 出場に係る市長表敬訪問について

### 1 概要

市が開設する盛岡という星で BASE STATION における支援を受けた 2 つのプロジェクトが、認定 NPO 法人カタリバが主催する全国高校生マイプロジェクトアワード 2021 岩手県 summit において 3 月に開催される全国 summit 出場枠に選考されたものである。ついては、選考されたプロジェクトの実施者及び関係者により、次のとおり市長表敬訪問が行われるものである。

(1) 日 時 3 月 22 日 (火) 16 時 30 分～17 時

(2) 会 場 盛岡市庁舎別館 4 階 403 会議室

(3) 出席者 盛岡市 谷藤市長ほか

岩手県立盛岡第一高等学校

1 年生 山根れいか さん

同伴者 岩手県立盛岡第一高等学校 梅津久仁宏先生、

学びデザイン課 坂下先生

学校法人角川ドワンゴ学園 N 高等学校※

2 年生 加藤常磐 (ときわ) さん

1 年生 佐藤沙羅 (さら) さん

同伴者 SoRa Stars 山崎智樹代表

盛岡市地域おこし協力隊 山本夏翠

※私立通信制高等学校で、本校が沖縄県うるま市伊計島にあるほか、スクーリングを行うためのサテライトキャンパスが宮城県仙台市などにある。

(4) 内容 実施者からのプロジェクトの紹介、市長からの激励

(5) 岩手県 summit について

全国 summit に先駆けて都道府県や地域ブロック単位で地域 summit が実施されており、岩手では、96 のプロジェクトのエントリーがあり、盛岡第一高等学校、大船渡高等学校、N 高等学校に所属する生徒が取り組む 3 つのプロジェクトが全国大会出場枠に選考されました。

### 2 全国高校生マイプロジェクトアワード 2021 全国 summit について

認定 NPO 法人カタリバが主催する、高校生が総合的な学習の時間や校外活動として主体的に取り組む探究活動などの成果を発表するサミットである。

全国から約 6,200 のプロジェクト (関わった高校生は 16,700 人) がエントリーされており、全国 summit には各県や地域から選考された 48 プロジェクトが出場する予定。

全国 summit は、3 月 25 日～27 日でオンラインで開催され、出場校からの発表が行われ、最優秀賞に選ばれたプロジェクトには文部科学大臣賞が授与されます。

なお、全国高校生マイプロジェクトアワード 2017 及び 2020 全国 summit において、盛岡一高のプロジェクトが全国 summit に出場したことがあるほか、過去の同 summit において大船渡高校のプロジェクトが文部科学大臣賞を受賞したことがあります。

### 3 選考されたプロジェクトの概要

#### (1) こころの多文化共生を目指して

～ウイグル問題を通じて日本人の民族意識を開拓する～

##### ア 実施者（所属学校・学年）

山根れいか さん（盛岡第一高等学校 1 年生）

##### イ 内容

ウイグル問題に関する本を読み「真の多文化共生」に関心を持った。彼らを救うためにできることは「知ること」と「体験すること」ではないかと仮説を立てて検証した。

「知ること」では、ウイグル問題の歴史や背景を文献で、アンケートにより一般の認識度を調査した。「体験すること」では、異文化体験のためイスラム教徒の家庭を訪問し、生活体験やお話を伺った。また、京都大の中国人留学生をゲストにウイグル問題についてのワークショップを開き「体験する」活動を広めた。今後も「様々なアイデンティティを持つ人が受け入れられる社会」を目指し、「体験する」活動を広げたい。

##### ウ 本市の関わり

本市が高等学校と連携して実施する「盛岡まるごと学びの場プロジェクト」のモデル校として、1 年生を対象とした外部講師によるミニ講座の開催等を行っているもの。

#### (2) 縁 project（よすがプロジェクト）

##### ア 実施者（所属学校・学年）

加藤常磐さん（N 高等学校 2 年生）

佐藤沙羅さん（N 高等学校 1 年生）

##### イ 内容

不登校生徒など狭い世界で苦しんでいる若者を対象に、「好奇心を出発点に、これまで無関心だった分野や新たな人・場所との出会いを生み出す」ことを目的とした「ボードゲーム×学び」をテーマとしたイベントを企画運営。

様々な背景を持つ若者が、岩手県内で活躍する大人とボードゲームを一緒にプレイし、ゲーム終了後には、ゲームの攻略に必要な「非認知能力」と社会で生きていくために必要な力との繋がりなどについて語り合うワークショップを行っている。

##### ウ 本市の関わり

本市が開設する「盛岡という星で BASE STATION」の探究活動スペースの利用者で地域おこし協力隊等からの助言を受けているほか、盛岡という星で BASE STATION においてイベントを開催するなどの活動を定期的に行っている。